

教科名	公民		学年	3	教科書 補助教材 等	7実教 現社315 実教出版 最新現代社会 新訂版		
科目名	現代社会		単位数	2				
科目の到達目標	広い視野に立って、現代の社会と人間について理解を深めさせ、現代社会の基本的な問題について主体的に考察し公正に判断するとともに、人間としての在り方生き方について考察する力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。							
学期	月	指導内容	具体的な指導目標		配当時数	備考		
一 学 期	4	私たちの生きる社会 民主主義の基本原則 基本的人権と法の支配 世界の政治体制	現代社会の諸課題について関心を高める。 国家権力と人権保障との関係性について考えさせ、基本的人権の保障が民主政治の目標であることについて認識を深めさせる。		8			
	5	日本国憲法の基本原則 中間考査 平和主義と日本の安全保障	民主政治の根幹である国民主権と関連させながら天皇の地位と役割について理解させる。平和主義について理解を深めるとともに日本の防衛に関する基本的事項を確認し、日本の安全と世界の平和について考察させる。		8			
	6	自由権、平等権、社会権、新しい人権 基本的人権と公共の福祉 日本の政治機構と三権分立	基本的人権の基礎となる価値や概念について理解させる。 日本の政治機構とくに議院内閣制について理解させる。司法の役割を理解させ、国民の司法参加について考察させる。		10			
	7	期末考査 青年期と自己の形成	生涯における青年期の意義を理解させ、自己実現と社会参加について考察させる。		2			
二 学 期	9	地方自治 選挙制度、世論の形成と政治参加 市場経済のしくみ、現代の企業 経済成長と景気変動	政治参加の重要性を理解させ、新聞やニュースを通じて現実の政治に関心をもたせる。 市場経済と意義と機能について理解させる。 経済成長や景気変動と国民福祉向上の関連性を理解させる。		8			
	10	財政と金融のしくみ 日本経済のあゆみ 中間考査 日本経済の現状と展望	政府の経済的な役割や金融の役割について、近年の経済動向をふまえて考察させる。 経済社会の変容の過程を理解させ、現代の日本経済の諸課題について考察させる。		10			
	11	社会保障 国際政治の動向、国連の役割、国際社会における日本の役割	国際的な相互依存関係が深まるなかで、国際社会の諸問題の解決に向けて国際連合やNGOなどの国際的な組織の役割が増大していることを理解させるとともに、国際社会における日本の役割について考察させる。		10			
	12	期末考査 民主社会に生きる倫理	現代社会の諸課題について資料にもとづいて考察させ、レポートにまとめさせる。		4			
三 学 期	1	国際経済の動向 国際分業と貿易 国際収支と為替相場	世界的な規模で自由な経済活動が拡大していることや国際経済の諸問題の解決には地球規模での連携が必要であることを理解させる。		9			
	2	学年末考査			1			
	3							
年間授業時間数計	70		1学期 28	2学期 32	3学期 10			
学習上の留意点	現代社会の諸課題についての基礎的知識を身につけるとともに日常生活と結びつけて関心をもつ。新聞記事等を活用して諸課題について考察しまとめる学習を重視する。							
評価の観点					評価方法			
関心・意欲・態度	現代社会の基本的問題に対する関心を高め意欲的に課題を追究している。					定期考査・提出物・授業への取り組み・態度等で総合的に評価する。		
話す・聞く能力	現代社会の基本的問題について課題を見だし、多面的・多角的に考察し、さまざまな立場や考えを踏まえて判断しその内容を表現している。							
読む能力	現代社会の基本的問題について諸資料を活用して学ぶ力を身につけている。							
知識・理解	現代社会の基本的問題について基礎的知識を身に付けている。							
¥22知 授業計画	東京都立第四商業高等学校 職員室 令和5年度 2023 年間授業計画 普通科目 ¥3年生 ¥【公民・現代社会・3学年】年間授業計画様式(2・3学年用).xls							